定期作況報告

(平成30年7月20日現在) 酪農試験場天北支場

I 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。

6月下旬:最高気温が 16.6℃ (対平年比-2.0℃) と平年より低く、最低気温は 10.4℃ (-0.2℃) と平年並で、平均気温は 13.1℃ (-1.4℃) と平年よりやや低かった。降水量は 63.0mm (370%) と平年より多かった。日照時間は 8.3 時間 (14%) と平年より短かった。

7月上旬:最高気温が 15.9 $^{\circ}$ (対平年比-5.2 $^{\circ}$)、最低気温は 10.3 $^{\circ}$ (-3.8 $^{\circ}$)、平均気温は 12.6 $^{\circ}$ (-4.6 $^{\circ}$) と平年より低かった。降水量は 44.5 $^{\circ}$ mm (128%) と平年よりやや多かった。日照時間は 21.9 時間 (56%) と平年より短かった。

7月中旬:最高気温が 19.1 $^{\circ}$ C(対平年比-1.3 $^{\circ}$ C)と平年よりやや低く、最低気温は 12.1 $^{\circ}$ C(-2.0 $^{\circ}$ C)と低く、平均気温は 15.5 $^{\circ}$ C(-1.4 $^{\circ}$ C)とやや低かった。降水量は 32.5 $^{\circ}$ mm (79%)と 平年よりやや少なかった。日照時間は 37.6 時間 (95%)と平年並であった。

平均気温の 3 旬の平均は 13.7 \mathbb{C} (-2.5 \mathbb{C}) と平年より低かった。降水量の 3 旬の合計は 140.0mm (151%) と平年より多かった。日照時間の 3 旬の合計は 59.5 時間 (43%) と平年より短かった。

気象表

月	Æ	平均気温 (℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			畑地温(10cm、℃)		
	旬	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月	下	13. 1	14.5	△1.4	16.6	18.6	$\triangle 2.0$	10.4	10.6	$\triangle 0.2$	13. 1	12.6	0.5
7月	上	12.6	17. 2	△4.6	15.9	21.1	$\triangle 5.2$	10.3	14. 1	△3.8	13. 3	14. 9	△1.6
7 万	中	15. 5	16.9	△1.4	19. 1	20.4	$\triangle 1.3$	12. 1	14. 1	$\triangle 2.0$	15. 3	15.7	△0.4
3 旬平均		13. 7	16. 2	△2.5	17. 2	20.0	$\triangle 2.8$	10. 9	12. 9	△2.0	13. 9	14.4	△0.5

П	旬	降水量 (mm)			降水日数(目)			E	平均風速		
月旬		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(m/s)
6月	下	63.0	17. 1	45.9	5	4	1	8. 3	58. 1	△49.8	2. 1
7 8	上	44.5	34. 7	9.8	2	4	$\triangle 2$	21. 9	39. 3	△17.4	3.4
7月	中	32.5	41.0	$\triangle 8.5$	2	4	$\triangle 2$	37.6	39. 4	△ 1.8	2.6
3 旬合計 平:		140.0	92.8	47. 2	9	12	$\triangle 3$	59. 5	136. 8	△69. 0	2. 7

- 注1) 畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。
 - 2) 平年値は前10か年の平均値。
 - 3) △印は対平年値比減を示す。

Ⅱ 作 況

採草型 チモシー

(2番草)作況:良

事由: 6月下旬から7月上旬にかけ、十分な降雨があり土壌水分が豊富であったことから、7月20日現在の草丈は平年より高かった。

目下の作況は良と判断される。

-	草丈(cm)	
本年	平年	比較
54	39	15

注)平年値は前6カ年のうち、最凶年(平成27年)を除いた5カ年の平均値である。